

ゴールデンウィーク 10 連休(その 2)

萩海運の新造船に会いに萩港+徳山港

事務局長 池田良穂

ゴールデンウィークの4~5日目は天気が悪いとの予報でしたが、その後は天気も回復という予報だったので、まず天気の悪い5月1日の間に山口県まで移動して、5月2日の朝から、日本海側の萩港での撮影から始めました。萩海運は、萩港と沖合の3つの島との間に3隻の貨客船を運航しています。いずれの島にも1日2便の配船で、最も遠い見島航路には20ノットの高速RORO貨客船「ゆりや」が4月にデビューしました。また、大島航路の「はぎおおしま」にも、初めての対面です。この2隻はいずれも船尾側に貨物倉をもち、船尾ランプウェイから小型コンテナをフォークリフトで搭載できる他、車両の積載も可能なRORO型貨客船です。一方船首に貨物倉をもちデリックで荷役する在来型の貨客船「つばき」は相島航路に就航していますが、こちらも近々代替される可能性が大です。



新造船「ゆりや」。「おにようず」の代替船で三菱造船下関の建造の高速アルミ船です。



「はぎおおしま」は航海速度16ノットの普通船です。ただ「ゆりや」と同様に船尾からRORO荷役ができます。



貨物は主に小型コンテナです。



在来型貨客船「つばき」です。

徳山港

萩港での撮影を終えて、広島に移動する途中に瀬戸内海側の徳山港に寄りました。沖合の大津島への高速旅客船の写真が不足していたためです。同航路には大津島巡航が高速旅客船「鼓海Ⅱ」とカーフェリー「フェリー新大津島」を運航しています。大津島には、人間魚雷の「回天」の基地があったことから、その博物館があり観光客も多いようです。



高速旅客船「鼓海Ⅱ」。



カーフェリー「フェリー新大津島」